

高齢者に必要とされる歯科医療・保健に関連する症例・事例報告書

年齢のことだけではありません

申請者氏名（自署） 老年 花子

症例報告 ・ 事例報告（どちらかに○をつけてください）

1. この症例(事例)を選択した理由

「高齢者に必要な歯科医療・保健を提供するための知識、臨床を有する」ことを証明できる症例(事例)を選択いただき、選択理由を簡潔に述べてください。選択理由、目的、考察が一致するようにしてください。

2. 症例および経過

◎客観的データを含めて、報告に必要と思われる情報を説明すること

- ・患者の基本情報（年齢、性別、職業、同居家族の有無など）
- ・主訴 ・ 既往歴 ・ 本報告に関連した疾患の現病歴
- ・疾患の進行度、介護度、自立度、障害の程度など患者の状態がわかる指標
- ・歯科的現病歴 ・ 現症、口腔内所見、口腔機能評価
- ・血液データ、画像データ ・ 具体的なアセスメント内容 等

◎記載する上での注意点

- ・日付表記はプライバシー保護に配慮し、学会発表に準じた形式で記載して下さい。
- ・時系列に沿って記載していく。
- ・歯科衛生士が行った具体的な配慮や指導、処置について、根拠を示して読者が理解できるように記載する。
- ・歯科衛生士の介入効果はデータを比較して記載する。
- ・多職種と連携した症例では連携内容や方法を記載する。
- ・高齢者の特性に必要なとした配慮(口腔内だけでなく全身的、生活的、社会的背景など)を明確にすること
- ・報告書に写真や図表を使用する際はアセスメント内容程度の最小限とし、詳細はプレゼンテーションで提示すること
- ・用語は『老年歯科医学用語辞典』（第3版、2023年発刊）に準拠し、適切に使用すること

3. 考察

◎歯科衛生士の視点で記載すること

- ・本症例の特徴や配慮をした点を、過去の報告などとも比較して考察する。
- ・このような症例に対応するために歯科衛生士はどのようなことに気をつけなければならないのか、過去の報告などとも比較して具体的に記載する。

○ 月 ○ 日

推薦指導医氏名（自署） ○○ ○○

\* 2枚以内でまとめること

\* 青字は、2023年度の書類審査で要修正に該当し、指摘事項として多かった事項となります。報告書作成時には、特にご留意ください。